

ファーストブック

6月27日、「読み聞かせサポーター事業」として、小松開作の上妻千織ちゃんに絵本を贈りました。

町では、子どもたちが心豊かに育つことを願って、平成21年度から、生後6カ月の乳児のいるご家庭にファーストブックとして絵本を、毎年町内すべての保育園と保育所に絵本と紙芝居を贈呈しています。



▲絵本を贈る椎木町長。「絵本をたくさん読んでもらって、本が好きな子になってください。」

周防大島の魅力を町長さんに聞こう！

6月18日、安下庄小学校で「町長さんに周防大島の魅力を聞こう！」と題し、安下庄小学校6年生が椎木町長から周防大島の魅力について授業を受けました。

椎木町長は、スライドを使い、歴史をたどりながら、産業・観光・風景などの周防大島の魅力について話をしました。

子どもたちは、「どうすればみかんを作る人が増えますか」、「10年後、20年後のみかんはどうなっていると思いますか」など、積極的に質問をしていました。安下庄小学校6年生の皆さんは、9月29日の「ゆめ花博 やまぐち子どもふるさとサミット」で、周防大島の魅力について発表する予定となっています。



日系移民150周年記念式典等への参加

ホノルルで開催された第59回海外日系人大会、移民元年者150周年記念式典、日本政府主催レセプション等、日本からハワイへの移民150周年を記念した各種関連行事へ周防大島町（大島郡国際文化協会）として4名が参加しました。

会場内では、在ホノルル日本総領事館からの要請のもと、周防大島町ブースを設け、ハワイ移民資料館の移民データ検索システムを設置し、ルーツ探しの支援を行いました。祖先が日本からの移民者である多くの来場者で賑わい、大変好評でした。1868年の元年者親族とも情報交換ができ、大変有意義な出展となりました。

その他、ブラジル親善協会やペルー日系人協会、ハワイ日米協会、日本ハワイ文化センター、NPOハワイシニアライフ協会等、移民の歴史と関連がある様々な団体と今後の交流等に向けての意見交換を行いました。

姉妹島である「カウアイ島」では、ベルナード・ガバリオ、カウアイ郡長を表敬訪問し、4月に発生した豪雨災害のお見舞いを申し上げるとともに、カウアイ山口県人会、カウアイ日本文化協会とも交流を行いました。

また、カウアイ・コミュニティ・カレッジ、カウアイ・ミュージアムを視察し、今後の交流の手法等について協議を進めました。



▲（左から）新谷カウアイ山口県人会会長、椎木町長、清水カウアイ日本文化協会会長



▲移民データ検索対応



▲海外日系人大会